

学校教育目標	豊かな心をもち、たくましく生きる生徒
目指す学校像	安全かつ安心して学び生活できる学校・学ぶ喜びを実感できる学校・生徒や保護者。地域から信頼され、愛される学校
重点目標	1 教育DXによる学びの自律と個別最適化の推進 2 生徒が主体的に学ぶ活動の充実 3 保護者、地域に信頼される学校づくり (コミュニティ・スクール) の推進 4 組織的な生徒指導・教育相談体制の充実 5 教職員一人ひとりを大切に職場づくり

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学 校 自 己 評 価				学校運営協議会による評価	
		年 度 目 標		年 度 評 価		実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	学びの質の向上に関する取組 □現状 ・学校は全体的に落ち着いており、生徒は授業規律を守り概ね真面目に学習に取り組んでいる。 ・R6全国学力・学習状況調査では、国語・数学共に全国平均を上回る結果となった。 ・中学校区での連携も順調である。 □課題 ・「教える」授業から「学ぶ」授業への転換 ・基礎学力が定着していない生徒へ対応。 ・授業におけるICT活用のさらなる推進。 ・小中のさらなる連携。	・学びの質の向上に繋げるカリキュラム・マネジメントについて	① カリキュラム・マネジメントを意識した授業へのシフト ② 単元重視に基づく、教科横断的学習の推進。 ③ ②によって生み出された時間を用い、学習の深化による学びの質の向上実現。	学校評価生徒アンケート「授業は楽しくわかりやすい」の肯定的評価向上 (R6:90%→R7:93%) 学校評価保護者アンケート「学校は生徒の学力を高め、能力を伸ばしてくれているか」肯定的評価向上 (R6:69.8%→R7:70%以上)			
		・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について	① 一人一台端末を効果的に活用し、学びの自律を推進する。 ② コーチングの手法を用い、「教える」から「学習者が主体的に学ぶ」授業への段階的シフト	「学びの指標」アンケートの関係する因子が昨年より向上しているか。			
2	子どもの発達や心のサポートに関する取組 □現状 ・全体的に落ち着いて授業等に取り組め、表立った非行事案はほとんど見られないが、SNSトラブルの頻発と不登校等により教室に入れない生徒が少なくない現状がある。 □課題 ・教室以外で過ごす生徒対応に人手が足りない。 ・SNS等の重大なトラブルに係り、外部機関との連携強化が必要。 ・多様化する生徒及び保護者に対する理解と対応	・子どもへの安心、安全に関する取組について	① 「おはようメーター」、「心と生活のアンケート」、担任との「やりとり帳」等を用いた個々の生徒の状況把握と情報共有の徹底 ② さわやか相談室、「Sola る一む」の効果的活用の推進	① 学校評価に係る関連する項目の肯定的な回答割合維持または向上 ② 不登校生徒、教室に入れない生徒数1割減			
		・生徒指導・教育相談に関する取組について	① 生徒指導・教育相談校内委員会での情報把握→分析→支援の強化 ② 生徒理解力と対応力向上のための校内研修の推進 ③ スマホネット安全教室等の保護者同席開催による意識向上	① 校内委員会で情報共有→ケース会議の確実な実施 (必要時) ② 各種講演会の保護者周知 (スクリーン、HP、学校だより等) の推進 ③ 保護者からの感想の共有による啓発推進			
3	地域とともにある学校づくりに関する取組 □現状 ・学校運営協議会では、目指す生徒像及び地域で協働できることについて熟議できている。 ・授業参観等への保護者参加機会の積極的設定。 □課題 ・学校運営協議会のさらなる熟議の充実と具体的方策の一步を踏み出す。 ・学校・家庭・地域が、生徒の「自立」目指して支援しようとする共通認識に立つ必要がある。	・学校運営協議会やSSN、関係機関との連携について	① 学校運営協議会での学校・保護者・地域との具体的な協働等についての熟議 (年3回) ② 校内活動の広報ツールの整備	① 地域連携に関する学校アンケートの関連項目の肯定的評価75%以上 ② 学校だより等で校内の様子をタイムリーに周知できたか。			
		・家庭と地域と協働して行う学校行事やイベントについて	① 地域行事への積極的な生徒ボランティア参加 ② 合同あいさつ運動の継続 (尾間木小学校：年20回、大牧小学校・向小学校：年1回以上)	① 地域行事に生徒がボランティアとして参加できたか。 ② 合同あいさつ運動を小学校と適切に連携して実施できたか。			
4	教育環境の整備に関する取組 □現状 ・備品点検及び予算の適切な執行等により、施設は概ね整っている。 ・空調機器の老朽化と過剰な負荷によるものと思われる故障等が起きている。 □課題 ・一人一台端末の破損が多く、修理等の対応が追いつかない状況。機器管理方法の見直しが必要。 ・SDGsを意識した取組の充実が急務。	・個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための環境整備について	① 備品点検と適切な予算執行の継続 ② ICT機器の状態と台数の定期的な確認	① 学校評価保護者アンケートの関連項目の肯定的評価維持 (R6:90.6%→R7:90%台) 確実な予算執行の継続 (R6:97.5%、R7:98%)			
		・学校施設の安全管理について	① 毎月の安全点検の確実な実施と、要修繕箇所への迅速な対応 ② 備品や消耗品、施設を大切に扱う教職員・生徒の意識を向上させる	① 電気料金昨年度比1%減 ② 設備や空調機器等の故障が昨年より減ったか。			
5	教職員のキャリア形成に関する取組 □現状 ・平均年齢：約36歳、平均経験年数：約9年 ・コロナ禍の活動縮小等により、指導技術等の継承が十分でない部分が見られる。 □課題 ・学年主任や教務主任として全体を見ることができそうな教員の育成が急務。 ・様々な生徒、保護者に対応できる実践力や危機管理意識の涵養が急務。	・教職員のキャリア段階に応じた資質・能力の向上について	① 経験年数に応じた資質向上のための適切な研修の確認と受講奨励 ② 事故・不祥事防止のための服務研修及び自己チェック (年3回) ③ 3年以内の教員の授業参観と指導助言 (学期に1回以上)	① 全ての教員が「研修プラットフォーム」を活用し、主体的に自己研修を実施できたか。 ② 教職員事故を防止できたか。 ③ 管理職による指導助言を日頃の生徒への指導に還元できたか。			
		・働き方改革や業務効率化についての取組について	① ICT機器を活用した教材等の開発と共有の推進 ② 教職員の心身の健康状態の確認	① 時間外勤務時間の平均が45時間以下を達成できたか ストレスチェックで要面談人数3人以下であったか。			

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校運営協議会からの意見・要望・評価等